

公民館長あいさつ



本郷公民館
館長 乾 由理子

この度、本郷公民館長に就任いたしました。

旧本郷村が松本市と合併して50周年を迎えるにあたり、記念誌を作成するための貴重な資料に目を通す機会をいただきました。このことはまた自身の歴史を改めて振り返る機会にもなりました。

当時小学生だった私は、体育館（現本郷支所・公民館）の脇を通り抜け本郷小学校へ通っておりまして。周囲はのどかで湯の町の活気ある環境で、道草や温泉街の小径を探索するには格好の場所でした。春宮神社で行う掃除や地区児童会でのラジオ体操、中学時代の女鳥羽川清掃や今はもうないのですが、夏の「へそ祭り」



令和6年5月1日現在

人口	14,391 人
男性	6,956 人
女性	7,435 人
世帯数	6,993 戸

への参加なども、仲間たちや家族との楽しい思い出として脳裏に浮かびます。

現代は、予測不能な時代と言われています。だからこそ、老若男女を問わず、ともに語り学び支えあい、活動をとおり豊かな絆を育む地域の公民館として取り組んでいきたいと考えております。

「ちよつと行ってみるか」「ちよつとやってみるか」と、そんな声が広がっていくことを期待しております。

就任のあいさつ



本郷公民館
公民館主事 宮下 慶祐

4月1日の人事異動により本郷公民館の配属となりました宮下と申します。松本市との合併50周年という記念すべき年にこの地で仕事を行えることになった縁を大切に、公

民館の事業を進めていければと考えています。

本郷公民館に来てからの約2か月間、館内では平日・休日・昼夜を問わず多くの年代の方々が利用されている姿が見られ、本郷地区の皆さんが自発的に様々な活動を積極的に行っているのが肌で感じられます。さらに本郷は、広大な地区の中に温泉地・市街地・農村地・山地と多様な性格を持つ地区であると感じています。自然・歴史・文化をはじめ、この地区ならではの地域資源が数多く見られますが、これらの素晴らしい財産を活用し、公民館ならではの活動を通して皆さんの学びを後押しできればと思います。

公民館報編集委員長あいさつ



本郷公民館報編集委員
委員長 草間 純佳

令和6年度編集委員の委員長に就任いたしました草間純佳

です。令和5年度に引き続き委員長をさせていただきます。

令和6年度は館長の乾さんと担当の宮下さんと各町会の編集委員さんとともに皆様にたくさんの方の地区イベント、各町会イベント、地域の出来事などをお届けしたいと思っております。

まだまだ不慣れではございますが力を合わせて頑張っていきたいと思しますので1年間、何卒よろしくお願いいたします。

本郷公民館日程

10/22 四	10/20 回	9/26 木	8/23 金	8/20 四	8/6 四	8/1 木	7/30 四	7/26 金	7/10 火 8/31 日 11/19 火	7/6 日	6/28 金
図書委員会前期文化講演会	文化祭特別企画視察研修	自然観察会ウォーキング	親子星空観察会	化石を掘ろう	美ヶ原トレッキング	親子料理教室	文化施設視察	プラネタリウム見学会	美鈴湖親子ディスカバリー	マレットゴルフ大会	ホタル観察会

浅間温泉観光協会から

4月中旬	2025 2/19 水 20 木	11/2 日 3 日	10/12 日	8/14 火 16 金	8/11 日 13 火	6/30 日	6/27 木 30 日	3/15 日	2/26 火	2/18 火	2/8 日	1/30 木	2025 1/8 火	12/14 日	12/7 日	12/1 日	11/9 日 11/10 日	10/26 日
浅間温泉麵武将&らめん祭り	だるま市（初度申）	浅間温泉新そばまつり	浅間温泉松明祭り	浅間温泉温泉フェスタ	浅間温泉夏祭り	ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会	浅間温泉ホテル祭り	本郷里山トレッキング	合併50周年記念講座	図書委員会後期文化講演会	親子スキー教室	合併50周年記念講座	書初め講座	親子そば打ち講習会	ふれあいコンサート	三九郎講習会	本郷地区文化祭	親子ニユースポーツ

※感染症の流行状況・天候などにより、予定が変更、中止となる場合がございます。あらかじめ直近のイベント広報をご確認ください。

記憶の地区

合併を見届けた
松本市浅間温泉国際
スケートセンター

合併50年

松本市浅間温泉国際スケートセンターは、昭和44年に本郷村営スケートリンクとしてオープン。その5年後、松本市本郷村合併に伴い松本市営スケートリンクとなりました。50年前の合併を見届けた施設でした。標高1000m、綺麗な天然水、周囲が山で囲まれていて風の影響を受けにくいなどの好条件に恵まれて競技会で好記録が出やすく、日本記録も出るようなリンクだったようです。

筆者も昭和44年に南信で生

公民館報「ほんごう」300号記念企画

館報第1号を振り返る

本号で300号を迎えた公民館報「ほんごう」。この節目に合わせて、始まりの第1号を振り返ってみます。松本市と合併した昭和49年の7月から「ほんごう」の発行は始まりました。内容を見ると「横田早起き歩け会」による早朝ウォーキングの様子など現在同様に地区の活動が取り上げられています。また「今年の公民館活動」では、当時の本郷公民館長がいくつ

まれ育ったのですが、小学生時代の冬には校庭にスケートリンクが造られ、体育の授業、日曜日や冬休みにも校庭リンクに通ったものでした。50年程前には身近な娯楽だったスケートですが、卒業後いつの間にか校庭にスケートリンクが造られる事はなくなりました。

松本市浅間温泉国際スケートリンクもピーク時には1シーズン約6万5000人あった利用者も1万5000人まで減少し、平成23年2月13日に閉場。42年の歴史に幕を下ろしました。

同じ昭和44年に生まれ、合併を経験した施設の閉場。あらためて寂しさを感じずにはられません。(三才山 Y)

か活動目標を挙げています。その一つに「松本市民としての自覚を深め郷土を愛する学習を進めよう」とあり、合併直後の雰囲気を感じられます。

結びでは、多くの課題と向き合う公民館活動に触れ、館報が「これ等を解決していく手掛かりの一端にでもなれば幸いと思います」とあります。先人たちが紡いできた館報の意義を引き継ぎながら、これからも地域に寄り添った内容を取りあげていきたいと思っています。

親子で農業体験

4月27日(土) 小学校PTAと青少年育成部主催の「子どもの体験講座・じゃがいも植え」が開かれました。

薄曇りで時々陽がさす中、親子25人が参加し、朝8時からまず最初に水汲児童遊園の草刈をし場所を変え、それからじゃがいも植えです。男爵メークイン・北アカリの3種類を植えました。植付けから肥料のやり方、土のかぶせ方まで、いろいろ学び、また土と親しんだ事は子どもたちには、大変いい経験となりました。

7月末の収穫が楽しみです。あるとともに、この体験講座は15年も続く行事であり、少子高齢化の折りではありますが、今後も継続したいものです。子どもたちの元気な様子に、こちらにも元気をもらいました。



(水汲町会 W)

伊和神社例祭

惣社地区では、毎年5月2日と3日に伊和神社で例祭が

行われています。新型コロナウイルスの影響で催しを縮小していましたが、昨年は晴天のもと4年ぶりにお舟曳きが復活しました。

子どもたちは、例祭の前に御雛子保存会の指導のもと1週間の太鼓練習をしていました。受け継がれてきたお雛子の笛、小太鼓、大太鼓、手平鉦の演奏、かつての勢いを取り戻すかのような子どもたちの活気ある声が境内に響き渡り、お揃いの法被、ハチマキを身に付け、お舟の綱を引っ張り境内を回る様子は、まさに圧巻でした。そして、地域の五穀豊穡と平穏無事、家内安全を願う町内を曳き回りました。



今年から通常の規模に戻り奉納相撲大会が開催されるといことなので、とても楽しみです。

(惣社2丁目町会 K)

フリーコラム 古今東西

横田町会の変化

松本に転勤して10数年が過ぎた。自宅から店は近く買い物に困らず、市内飲食店にも歩いて行く事も出来る距離、必要な病院も有る、自宅付近

に山も川もなく災害の心配無く居心地が良い町だ。

さて勤めていた時は自宅と会社の通勤道路だけで、町内をゆっくり見ながら歩いて回ったことが無かった。定年後健康の為に、町内や近隣を散歩すると、農地で有った土地が宅地に代わり家が建てられ家が増えている。いつも見慣れた家も撤去され更地になり、またある家は再建して新しくなっていた。夜に新しい住宅地区に行ってみると、見た風景は新築の家々が道路に整然と並び、道路は外灯によって明るく照らされて近代の街角になっ



新しい地区



自宅の地区

ここに引越して自宅の隣りに挨拶はしたが、退職までは、深い付き合いの機会は無かった。町内役員になって地域交流活動に参加する事で多くの方と知り合え気楽に会話が出来る隣人が増えた。

(横田町会 M)